

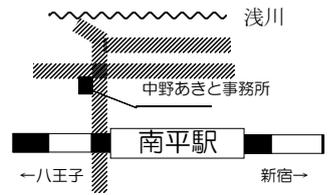


検索・中野あきと

# みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース  
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)  
(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

法律・生活相談など  
お気軽にお立ち寄り下さい



## 入試への活用はやめるべき 英語スピーキングテスト 都議会議員 清水とし子

都民の反対の声が広がるなかで、英語スピーキングテストが昨年11月強行され6万9千人の中学3年生が受験しました。私も参加する都議会議員連盟と都民団体は、実施状況のアンケートを行い、1週間で478件の回答が寄せられました。全197会場中125の試験会場の生々しい声も寄せられました。

テストは同じ教室で30人がいっせいに回答を吹き込みます。「防音室をつけても前後左右の人の声は、はつきり聞き取れた」「声がまる聞こえで、ほかの人の答えが分かってしまった」など、防音具越しに他の受験者が回答する声が聞こえたという事例が166件寄せられました。

テスト開始のボタンを遅れて押したり、出題音声のボリュームを下げたりすることでカンニングができてしまう証言もありました。録音確認の際に、周りの受験者の声が録音されていたと



いつも事務所が発行する「みどりと清流」をお読みいただきありがとうございます。お陰さまでこのニュースも昨年10月号をもって発行20年となりました。これからもよろしくお願いいたします。

今年、戦争か、それとも平和か、日本の今後の国のあり方が大きく左右される1年になると思います。

ナチ党の最高幹部でヒトラーの後継者とされたゲーリングが次のような言葉を残しています。

「民衆は戦争を望まないが、人々を指導者の言いなりにするのは簡単である。国が攻撃にさらされると国民を煽り、平和主義者のことを国に危機をもたらす、愛国心がないと公然と非難す

ればよい。どの国でも同じように効果がある」……。こうした危険な言説が世を跋扈(ばっこ)し始めていることを察し、声をあげ警鐘を鳴らす方々が出てきました。

昨年末「徹子の部屋」に出演して来年のことを問われたタモリさんは、「新しい戦前」と語りました。

紅白歌合戦で桑田佳祐氏が、佐野元春氏などに呼びかけて結成されたバンドは「時代遅れのロックンロールバンド」の演奏で、ウクライナをはじめとする世界中で未だ止むことのない紛争問題も思わせる「No More No War 悲しみの黒い雲が地球を覆うけど」と社会的なメッセージを發しました。

河野洋平元副総理、古賀誠元幹事長など自民党の重鎮からも、空前の大軍

今後の国のあり方を大きく左右する1年  
全力でがんばります  
中野あきと

### 問題点が次々

この証言は55件あります。

### 公平・公正とは言えない

テストは受験者を前半・後半と組み分けし同じ問題で行われましたが、前半組が回答する声が、隣の教室で待機する後半組に聞こえてきた、前半・後半組がトイレで会うことができたという声も46会場から寄せられています。

東京都教育委員会は、当日の状況について、受験者の声を直接聞いて調査すべきです。英語スピーキングテストの都立高入試への活用は、きっぱりやめるべきです。



2023年  
迎春

今年もよろしく願っています  
中野あきと事務所

拡を進めようとする現政権に、厳しい疑問を呈する発言が飛び出す事態です。せつたいに「新しい戦前」にはさせず、これまでの平和な国づくりを守り抜く。そのためにどれだけ豊かな国民的な共同をつくれるか、共同の再構築が強く求められていると感じています。

侵略戦争に命がけで反対し、共同で政治を変えることを一貫した方針に持つ日本共産党の真価、存在意義が問われていることを肝に銘じ、1年間、全力をあげる決意です。

今年もよろしく願っています。

### 短信

「新しい戦前」。タレントのタモリさんの投げたフレーズが、歳末の巷を駆けめぐった。信念も持たず、保身のためなら何でもありの政権の危なさを多くの人が危惧している▼「敵基地攻撃能力の保有」「軍備大増強」。岸田首相は、専守防衛を投げ捨てた安全保障政策の大転換をアメリカ言いなりに、国会閉会を待っていたかのように閣議決定した▼かつて日本は、アメリカが求めたベトナム戦争への参戦を「憲法9条があるから」と断る知恵があった。今後は進んで米軍の戦闘に加わることになる▼去年は日中両国が国交回復してから50年、日朝平議宣言から20年の年だった。平和外交と言つと「お花畑」「夢物語」などの声を聞くが、以前の政権は困難を乗り越える外交努力もやっていた▼へ自分の国はもちろんだ事だけど、隣の国も、その隣の国もー「おまえさんのところも大事におしなさいよ」「ええ、おたくも」っていうような感覚がほしいんですよ。平和を下町言葉で語ったのは女優の故・沢村貞子さんである▼ベトナム戦争の対応で二分した苦い経験を持つ東南アジアは、沢村さんの言葉のように紛争を戦争にさせない対話を続けながら、その枠組みを東アジアにも広げる努力をしている▼「戦争しない国」という日本の値打ちが、平和の枠組みづくりに大きな役割を果たすだろう。孫や子からの恨み節を聞かぬためにも、新しい戦前などとさせてなるものか。

## 「12月市議会」

### 審議された主な問題と結果

#### 〈市政の不正疑惑問題〉

● 共産党市議団は、元副市長をめぐると連の不正疑惑の追及と共に、新たに浮上した官製談合疑惑を質し、市長は再検証を約束しました。

#### 〈市民要求〉

● 補聴器購入の支援制度が利用しやすい制度となるよう、共産党市議団は具体的提案を行いました。

● 民間業者による三沢地域斜面地開発に関する住民の不安解消について、共産党市議団は埋没している地下壕の全容の解明を求めました（地下壕は戦時中掘削されたもの）。

#### 〈個人の尊厳を守る問題〉

● 共産党市議団が提案したパートナーシップ制度が導入されることになりました。

### 「21年度決算委員会での質疑より」 生活保護の申請は権利である

#### 「中野あきと市議」

厚労省も東京都も、他の自治体でも「生活保護の申請は権利である」との見解で啓発を進める中、日野市は「生活保護を受ける人が自分のためにあらゆる努力をすることが必要です」（ホームページ）との見解を出し続けている。早急な改善とともに、権利であるということの積極的な周知・啓発活動を求める。

#### 「担当課長」

権利であるという視点を入れて、（見直しを）検討していきたい。

● 国のデジタル関連法改定にともない、これまでの日野市個人情報保護条例に代わる日野市個人情報保護法施行条例が審議され可決されました。しかし、これまでの条例にある個人情報保護の積極的な規定が外されることになり党市議団は反対しました。

#### 〈市民が提出した請願〉

● 国民健康保険税の連続値上げに、国保運営協議会の市民委員4人のうち3人が反対する事態となりましたが値上げ反対の請願は不採択。値上げ条例は可決されました。

● 市政をめぐると連の不正疑惑解明について、市議会に百条調査特別委員会の設置を求める市民の請願は、自民、公明、チーム未来などの反対で不採択となりました。

● 演劇関係者から出されたインボイス中止を求める請願は、与党の反対で不採択となりました。

● 市立第4幼稚園閉鎖見直しを求める保護者からの請願は、継続審査となり次回市議会でも引き続き審査されます。

#### 「大坪冬彦市長」

その説明ということについては気をつけなければならない。我が市の（ホームページ）の努力義務、つまりあらゆる努力をした結果という説明が適切か。そうではないかと思っておりますので、これは今後表現を見直していかなくてはならないし、表現を見直すだけではなくて、当然、表現の裏にある生活保護の実施体制についても、しっかりとしたものにしていく。権利を守る、人権を守る、そしてステイグマ（汚名）をなくしていくような、そういう生活保護行政をやっていくかなければならない。これから全力で努力をしていきたいと思います。

## 日野のちょっと昔（その10）

### 「火の見櫓（やぐら）」のあった風景 ～6年前の川辺堀之内～



写真は6年ほど前の2016年8月26日に撮影の川辺堀之内の風景です。鉄骨造の高さが15mほどの「火の見櫓（やぐら）」が立ち半鐘も見えます。周囲には農家の平屋で瓦

屋根の大きな家があります。今では高い建物も多くありますが、以前はこの「火の見櫓」から集落全体を見渡せました。

櫓の下の「堀之内研修所」看板の建物は昔の「藪乾燥庫」。近くには集落を見守ってきた江戸時代後期に造られた「地藏さんと馬頭観音」の小さな祠もあります。この辺は昔からの典型的な農村地帯で、一面の田んぼと畑の中に農家が点在していました。現在は区画整理と合わせて幅30m道路も建設中で、田畑も少なくなりました。

この「火の見櫓」も3年ほど前に撤去されましたが、半鐘は300mほど東の新しい消防団詰所の軒に今も吊るされています（右上の写真）。



## —中野あきとの— 日野市…ここに注目

### 緑と清流のまちづくり

日野市役所には全国で唯一の課があるのをご存じでしょうか。1983年に誕生した水路清流課（1998年に緑と清流課へ名称変更）で、「緑と清流のまち・日野」の象徴です。

戦後、1950年代以降、多摩平団地と多摩丘陵の宅地開発等によって人口が急増、急激な都市化の波にさらされます。そうした変化に下水道の整備が追いつかず、工場から排出された化学薬品やし尿、各家庭の生活排水などが河川や用水に流れ込み、まちの環境は急激に悪化しました。

こうした事態の中で誕生した森田喜美男市政は、居住環境の整備と住民の福祉向上を主眼に置き「緑と清流の住みよいまちづくり」に取り組み始めます。下水道整備が追いつかず水質汚濁が問題になると、用水や小川に蓋をかけて「見せない化」を進めた多くの自治体と異なり、日野市は逆転の発想で用水路に年間を通じて水を入れることで水質汚濁の解消を進めました。1976年には清流条例を制定し、条例を推進する部署として、1983年に全国初の水路清流課が誕生したのです。



日野市役所

日本共産党発行



日刊●月 3497円  
日曜版●月 930円

## 「無料法律相談日」 2023年2月

■ 2月9日（木）午後1～3時 日野市役所6階共産党控室

（お申込み） わたなべ三枝・清水とし子事務所 ☎042-582-1042

◎法律相談以外のお困りごともお気軽に 中野あきと事務所 ☎042-599-3350